

刊夕日二十月二十



定価 一冊五銭 一月五拾五銭 三月一拾五銭 半年二拾五銭 一年四拾五銭  
 日曜 休刊  
 発行所 警備部印刷局  
 印刷所 警備部印刷局

### 信仰身の上相談

眞 繼 雲 山

(下)  
 罪に泣くも亦た  
 入信の勝機縁

佛教には順逆の二縁ありて佛様の慈悲の網は何處にどうして張られてゐるか淺智を以て知ることは出来ません。病氣も下獄も宿縁に恵まれたものに取つては感謝すべき大切な入信の機縁です。あなたに若し收賄下獄の出来事がなかつたらあなたに、恐らく一生收税吏として平々凡々裡にその一生を終られたであらう。波瀾は望むべきでなくも、それに依つて眞實の信仰が得られたとしたならばそれによつてあなたは永生を得佛の子として無上の佛果に登る縁が得られたわけですからこれ程有難い御縁はありません。

はそれを宗教談話に打ち交ぜて世人を利益すべきことが含まれてゐると思ひます。それを公開し講説せらるゝことだけにでも比類なきあなた独自の貴重な使命があると思ひます。

既に懺悔した以上少しも恥づべきことではありませんが、況んや肩身せまき思ひをして他郷に隠れ失業に泣くなど思ひもよらぬ不所存です。堂々と勇敢に前轍を生かして奮起し更生して下さい。



或は星

木津茂太郎

文學を私は好んだ。戀人を私はさがした。「世間」といふ人間の多く集つた處には、私のをんなはなかつた。一時私の周圍に一人のひとがあつた、しかし「運命」は私の手からもさ取るやうに、

その一人のひとを奪つて行つた。  
 私の「をんな」はなかつたのだ。  
 ふと、夜空を見上げると光る星、綺麗な星、無限の星。  
 戀人は生の地上になく、高い遠い空にあつた。  
 灰色の霧のやうな周圍にゐないで、  
 青白い光芒を放つ星にのみた。  
 少くとも星になつてゐた。

美味!  
 芳醇!

## 宗正らひた

山崎合名會社  
 電話一〇番

### 正月用トソ具超特賣

流行新時代家庭必需品

- 四ツ揃屠蘇具 木箱附(三組、盆子、足附盆) 一金一圓九十錢ヨリ
- 五ツ揃 全(四ツ揃ヨリ大形ニテ三重重ね箱) 一金五圓四十錢ヨリ
- 七ツ揃 全(五ツ揃ヨリ大形ニテ四ツ重ね重ね箱 銘々皿箸置き付き) 一金拾圓ヨリ
- 正月用白木三寶特賣
- 四寸 十三錢 五寸 十八錢 六寸 二十五錢
- 七寸 三十四錢 八寸 四十三錢 九寸 五十五錢
- 店員至急募集:
- 小店員 十四五才 仕着外小使月三圓
- 外交員 十八九才ヨリ 二十五六才迄
- 漆器専門部 委細面談優遇
- 平町三丁目北裏通り

### 共榮漆器店

磐城セメント會社特約店



- 良品廉賣に勝る商略なし
- 確實敏捷は(久全産園)の生命なり

### 忘年会 新年會

○萬事御希望に副ふやう勉強して御奉仕致します  
 ○御通知下されば當方から御相談に參上致します

平町紺屋町

### 住吉屋本店

電話一五九番



玉屋洋品店  
 平町田町通電話六五六番

感じの良いい!  
 客に親切な……

藥種賣藥、工業藥品  
 衛生材料、各種染料  
 化粧品、其他

### 阿部藥舗

平・田町(松月堂)

## 孫寅 考案の 殿中揚

一般御家庭御惣菜用おでん。鍋焼の材料に最適な美味食品。一本三錢是非御試食を乞ふ……

平町一丁目

お惣菜用 さつま揚 吉原揚

## 孫寅

電話一四一番

# 子供の近視増加 學校衛生上の問題

## ▽各家庭の注意を要す

### 篠山校長痛心して語る

平第一小學校では此程平町各小學校の最近十ヶ年間に於ける近視累年比較表を作成したが此表を見ると一般に増加の傾向が認められ學校衛生上見のがせない問題である、即ち男兒童は大正十三年度一、二、九三%が本年度に於ては一五、二二%を示し女兒童は大正十三年度一五、二七%が本年度は一八、九九%となり男子に於て二、五%女子に於て三、五%の各増加を來し女子は男子に比して三、五%だけ近視率が多い、原因は腺病質及び遺傳性の子供が多數

を占めて居ると右に關し校長篠山廉氏は左の如く語つた

これらは學校家庭共に深甚の注意を要する問題である

平素學習上注意を拂ふべきは勿論大いに戶外運動を奨励して一般の体力増加を圖らねばならぬ

## 三千噸級の汽船を

### 三隻横付けも今は夢 思ひ切れぬ小名濱町 更に猛運動

小名濱商港の改修工事は工費三百五萬圓を二百七十萬圓に削減された結果明年度工事としては従來の計劃を縮少し防波堤延長と岩壁工事及び百米の防砂工事等に

止める豫定で以前の三千噸級汽船三隻横付けの計劃は二隻に減じらる事となるので町では明年更に猛運動を起し當初の計劃案通り實現に努める模様であるが同商



## 巷の話題

### 一ちよう行くせ

峰根炭礦の事務員渡邊正司(三)さんは大變飛乗りが上手なのでした、でその日も炭礦専用電車が出来るのをわざわざ途中で待つて『おーいみんな見てくれよ、うまいとこ一ちよう行くぜ』そう言つていつものやうにハンドルのひよいと手がか

つた——と思つたのでした

たが瞬間ウアア……正司さんは線路の上に投げ飛ばされてそのまゝ永久に意識を失つてしまつたのでした

### 悲劇馬に情の罪

名古屋市中區米野町荷馬車軌道中虎次郎(三)は一家十一人の暮して収入の全部は米代にしてはなほ不足一家の暮しを支へる馬の飼料すらないため馬は日毎に瘠せ衰へ最近殆ど骨と皮ばかりになつてしまつた可哀想にうアオよと慰め

てる折も折近所の妻君から金指輪の入質方を頼まれた虎さんは悪いこと、は知りながらそれを馬の飼料代に流用『アオよ馬腹食へな』と元氣になつた馬を曳いて働かせる所を虎さんは署に引かれて行つた

### 手におへぬ亭主

群馬縣勢多郡南橋村桑原吾一(一)馬券で大穴を當て、以來全國の競馬場をほつつき歩いて妻子を顧みないので妻君は五人の子供を連れて御亭主捜しの競馬場廻

### さかさま聴診器

蹄鐵工の惣次(三)は人間の診察はちよいと六ヶしいが畜生なら譯はあるまいと發心、天晴れ馬醫者に

港の完成は昭和十二年頃と豫想されて居る

## 兎肉販路

### 磐崎村で擴張

磐崎村養兎實行組合では來る廿五日午前十時より同村

役場内に於いて役員會を開き兎肉移出の販路擴張に就いて打合せを行ふ

## 農家々計簿の

### 記帳方法講習

本縣統計課では農家經濟の更生對策として豫てより家計簿の記帳方を奨励して居るが來る廿四日吉田統計課長が出席のもとに本縣最初の農家記帳講習會を四倉小學校に開催すると

東郷元師の像 平藝妓屋組合では昨日磐城訓官院に東郷元師の像價格五十圓一ヶを寄贈した

## 第二校書初展は

### 九月より四日間

來る一月九日より四日間平第二小學校も既報の第一校通り全校兒童の書初め展覽會を催し審査の結果優秀なる作品に各賞状を授與する

平町人事  
回婚 姻  
△渡邊村字和久前一九高木菊太郎(二九)胡摩澤二一渡邊クニ(二五)  
△田町四〇 當時東京市四谷區寺町一四高萩季雄氏(三八)磐崎村字大夫富岡光代(三一)

## 師團長宮殿下の有難き御思召に依り本紙献上の榮に浴す

(四十一) 終橋本忠夫  
前九、一〇 料理師立「夕」  
後六、〇〇 (子供の時間  
児童劇)のらくろ演藝會)

年賀狀の印刷は  
此活字をお勧めします  
御一報次第社員参上……  
常警毎日印刷株式會社  
電話六三〇番

10日  
体温計の検査日です  
検査新設  
お宅の体温計は?  
◎正確な体温計を御使用下さい  
◎毎月十日の検査日御利用下さい  
度量衡 指定販賣人  
計量器 西村屋藥局  
電 三 番

鼻病、腦病  
化學治療藥  
小壹圓貳拾錢、中貳圓、大五圓  
蓄膿症其他鼻病と頭痛症神經衰弱等の諸症が簡単にして他類の無い一日一回の用藥で手軽に僅かな費用で治療の出来るピノサンが發表されました今すぐ用て劃期的快癒の喜を得て下さい  
御來店の方に鼻病説明書無代進呈此廣告  
御持参の方に一人一回試薬致します  
福島縣平町白銀町五(千代メッキ店裏)  
石城郡特約店 村山書店  
販賣御希望の方特に御相談に應ず

師團長宮殿下の有難き御思召に依り本紙献上の榮に浴す

師團長宮を迎へ

けふ將校演習

自動車で植田町へ御成

東久邇第二師團長宮殿下に於かせられては昨夜十時御宿處住吉屋本店舊館階上奥の間に静かに御就寝遊ばされ今朝七時十五分早くも御目覚めに相成り御軍裝姿も凛々しく午前八時自動車にて御出發一路植田町にお成り附近で行はれた河村第廿九聯隊長統裁の現役將校現地戰術演習を具さに御統監なされ午後四時恙なく住吉屋本店にお歸り遊ばさる

我等郷軍に

傾けらるゝ御英慮

ただ感激の外なしと 山崎聯合分會長語る

昨日平澤ホームにて拜謁を賜はり更に明日片倉製糸工場に御台臨の際には特に御陪食仰付けられる石城在郷軍人聯合分會長山崎清三氏は重なる光榮に恐懼して左の如く語る

奉送は差控よと

特に有難き御思召

師團長宮殿下には明日午後一時五十分平澤より下り常磐線列車にて御歸途に着かせられるが特に有難き思召を以つて學校團體其他一般の奉送を差控よと仰出された由

り更らに明日は片倉製糸場にお成りに遊ばさる趣きにて郡民たるもの誠に感激に耐えざる處、殊に



明日のラジオ 廿三日 天 今晩は北西の風晴 曇明日は南西の風 曇後晴

今晩の部

後六、〇〇 子供の時間 お話「型紙で刷る面白い年賀状」杉浦基史郎 後六、二五 基礎佛語講座 (終講)目黒三郎 後八、〇〇 獨唱と管絃樂 一管絃樂喜歌劇「マルタ大

明日の部

前七、〇〇 基礎佛語講座

片倉の光榮

明日具さに御視察

模範女工が製糸作業

久邇宮第二師團長宮殿下の郡内御巡視最終日である明日廿三日は午前九時御旅館を御發

既記の如く小名濱、豊間等を御巡視の上正午平町の警備片倉製糸會社に御成遊ばされ直に既報戦死者遺族及び傷痍軍人に對し拜謁を賜り終つて御少憩後同場

白米一俵

金子氏寄贈

平田町松月堂菓子店主金子重次氏は昨日歳末貧困者救助の爲め町役場に白米一俵を寄贈した

平第二も 珠算競技

既報平第二小學校では昨日午前八時半より同校講堂に於て玉手、松本、佐藤、鈴木各訓導係りの下に

信榮幼稚園の可愛い降誕祭

平材木町信榮幼稚園では本日午前十時よりクリスマス會を催したが園児達の可愛い左記演技あつて頗る賑ひを呈した

- (四十二) 終橋本忠夫 前九、一〇 料理献立「クリスマス料理」朝倉長吉 前一〇、三〇 家庭講座 「新年のお化粧と御着付け」についての注意 田中雅子 後〇、〇五 和洋合奏長唄 「鶯娘」富士管絃樂團 指揮 近藤信一 後二、〇〇 婦人講座「かげらう日記の作者に就いて」磯部貞子 後五、三五 受驗講座「化學」今泉義夫

- 後六、〇〇 子供の時間 兒童劇「のらくろ演藝會」長谷山雛菊音樂會 後六、二五 ことばの講座 「子供の日常用語と國語讀本」田原美榮 後七、三〇 時事解説 商工次官吉野信次 後八、〇〇 義太夫「傾城阿波の鳴戸」淨り豊竹昇之助 三味線豊澤力松 後八、四〇 連續ラヂオ ドラマ復活(第三回)友田泰助田村秋子外大勢及音樂等

平商成績協議

平商では本日午後二時より同校會議室に於て職員會議を開き第二學期に於ける全學生徒の成績を協議した

野谷氏逝く

四十有餘年の永きに亘る教育界より先年職を退き平町八幡小路に靜かな老後の餘世を送つてゐた野谷次良氏は去る二十日宿病にて長逝せられ本日午後二時長橋町性源寺に於て葬儀執行された

平職業紹介所報告

- 求人を求める方 △女中 十六才 尋卒 給料面談 △柏木 三十五才 委細面談 △雑役 三十才 委細面談 △看護婦見習 二十才位 高卒 給料面談 △回 職を求める方 △土工 三十四才 尋卒 給料面談 △給仕 十七才 高卒 給料面談 △事務員 十八才 青年校卒 給料面談

# 銘劍秘笈

【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴演  
山本英春畫

第二百十回

此處に崇る妖刀

お買上げ御無用  
河「幸ひこの葛籠へ死體を  
入れて、貴公ご苦勞だが隅  
田へ押し流しては了つしや  
い」  
仙「承知いたしました」  
河「拙者は是で別れるから  
貴公定廻りの目に掛ぬやう  
に」

仙「心得てござる」  
と該の男は浪人に一禮し  
てソツとこの場を立ち去つ  
た。浪人は後に残り血汐に  
染んだ布團を丸めて戸棚へ  
押込み明火を吹消し其儘立  
退いて了つたのを長屋の者  
は多く留守になつた爲め誰  
一人氣づく者もなかつた。  
翌朝になつて例の掛取り連  
中が来て騒ぎ出し長屋の者  
も集まつて来たが皆目仔個  
が分らず、早速家主五人組  
からその筋へ訴へ出る、役  
人出張して検めた上多分賊  
が忍び入つて病人の夫を殺  
しその死體を持ち去り妻を拐  
帶したか或は夫婦とも殺さ  
れたか何しろ是だけの大仕  
事を夜中とはいひながら近  
所へも知られず事に近  
たは餘程巧にやつた者で恐  
らく一人の所業ではないと  
先づ大凡の鑑定はついたが  
何分賊の手掛がない、いは

が不憫の者と思はれてか家  
來を見送り  
武「合力を取らせろ」  
近「ハッ」  
と答へて小判一枚懐中よ  
り取出だし  
近「上より御合力下さる  
ぞ」  
と老婆の手に握らせる老  
婆はそれへヒレ伏して  
婆「何れの御大身様か存じ  
ませんが大枚の御合力有難  
うございます」  
と涙と共に禮を述べる武  
家の一行はそのまゝ行かう  
とする後から「モシ暫ら

ゆる怪事件として與力同心  
手先等のく心する處となつ  
た、然るにその翌年寛政五  
年一月の事淺草觀世音へ去  
る大名の隠居とも覺しき  
方の微行と見え、八丈笠を



面深く視り羽の蝶の紋のつ  
いた黒羽織、茶草の袴を穿  
ち、細身の大小を差し後に  
は近習らしき家來三四人附  
添ひ参詣の歸り境内のどあ  
る茶店の脇の處で目の見え  
ぬ老婆と十二三の少女が琴  
を掻き鳴らして、住き來の  
人の合力を受けてゐる。そ  
の前へ立止まつた彼の武家

○「何用であるか」  
女「恐れながら只今是にて  
御様子を見ました  
が御大身の御方と存じお願  
ひがござります」  
○「ナニ願ひとは」  
女「近頃申上げ兼ねまして  
ござりますが據らなき事情  
にて手放しまする、家に傳  
はる是なる刀、何卒御買上  
げ下さるやうお願ひ申しま  
す」  
○「イヤ不躰千萬刀の御求  
めを願ふとあらば何故御屋  
敷へ照り出ぬ、御参詣の途  
中において願ふとは無禮で  
あらう」  
女「ハイ御尤もございま  
すが、何れの御方とも存じ  
ませぬば御屋敷も辨へぬが  
只今是なる老婆へ大枚のお  
金をお恵みなされし處を見  
ればいづれ御大身とお見受  
申して御無禮とは知りなが  
らお願ひ申上げました次第  
にござります」

く御待ち下さいまし」と聲  
をかけて近寄つたのは一人  
の美人、浪人の娘とも見え  
るキリ、とした風体、風呂  
敷に包みたる刀を持つて居  
る、呼とめられて人々立止  
まり  
○「今我々を呼止めたは其  
方か」  
女「左様にござります」

武「流石は名鍛冶切れ味思  
ひやられる、如何にも此の  
かたな求め取らせるがた  
今途中のことなれば本所下  
屋敷まで持参いたせ予は岡  
山の隠居である」  
女「ハ、ソ、左様な貴き御  
方へ直々御参り申し何とも  
恐れ入りましてござります  
お叱りもなくお買上げ下さ  
るとは誠に有難う存じま  
す」  
これを傍で聞いてゐた田  
邊紋彌と云ふ近習が  
紋「恐れながら村正のかた  
なとあれは御買上の儀然る  
べからずと存じます」  
隠「紋彌には異なることを申  
する、何故あつて、村正の  
かたなに限つて求められぬ  
ぞ」

これを聞く彼の武家が  
武「ア、コレ、折角手  
見受けて買上げを願ふとい  
ふもの、さのみとめるには  
及ばぬ暫らくこれで休息し  
て遣はしその上心に叶つた  
ら求めて取らせる、コレ女  
その刀をこれへ」  
女「ハイ」  
と答へて風呂敷のまま刀  
を家來は受取つて風呂敷を  
解き主人の前へ差出せば、  
スラリ抜いたる秋の水、實  
にや氷を割つたる如き名刀  
打返し、箆と見て  
武「ウム、コリヤ村正さや  
な」  
女「御意の通りでございま

## 木村外科醫院

白炊院の便あり 平町五丁目橋際  
電話三九〇

### 病者の福音

#### 冷鑛泉明バン緑バン湯

湧出地 赤井村大倉二五番(赤井驛より二十丁)  
試第二七四五號 (試験報告書)

右試験の爲め當所に差出したる水は少量の赤褐色沈  
澱あり収斂性酸味を有し微に硫化水素臭あり酸性反  
應を徴す比重攝氏十五度に於て壹、〇〇四五なり、本  
水壹キログラム中の固形物總量は四、四九二九グラ  
ムにして之が定量分析を施したるに本水は其の集積  
に於て壹キログラム中次の成分を含有せる溶液に概  
略相當するものと認め

クロールカリウム	〇、〇三三八グラム
硫酸カリウム	〇、〇〇四四
ナトリウム	〇、四九一四
亜酸化鐵	〇、七二二七
同 アルミニウム	〇、七四六七
同 カルチウム	一、三二六七
同 マグネシウム	〇、三二九九
同 遊離	〇、〇六五九
メタ珪酸	〇、〇四二四
硫化水素	跡

右試験の結果に據れば本泉は酸性明鑛綠鑛泉に屬  
せるものにして醫治効用左の如し  
浴用、下腿潰瘍、手足多汗症、慢性泌尿器及生殖器  
病、慢性リウマチス、皮膚病、痛風、腺質、恢復  
期、官能性神經痛(ヒステリー)及神經衰弱(軽度の背  
髓病、中樞及末梢性痲痺(經久性半身不隨、小兒痲痺)  
外傷性諸障害

昭和六年十一月二日 福島縣衛生試験所  
地方技師 中田 貞次 郎  
衛生技師 高橋 猛  
其他入浴の結果に依れば頭痛、肩コリ、眼病、胃腸  
病、痔病一切、淋病、心臓、打身、切傷、腎臓、皮  
膚病、神經痛、不眠病等  
前書の病名は十四日位にて全治します(但し淋病  
廿日間)本鑛泉は澁く酸く甘く萬病に効能あり。  
福島縣石城郡赤井村字大倉二十五番

### 白石屋

白石源四郎

### 三井タクシー

平町二丁目 電話六八五番